

1. センターの運営体制

ボランティア・NPO活動センターでは、ボランティア・NPO活動センター委員会、ボランティア・NPO活動センター会議、学生スタッフ会議、スタッフ会議という4つの会議を運営するなかで、様々な事業を教員、職員、学生の三者が進めています。今年度はオンラインでの開催が中心となりました。これまで、集合して対面で行うことが当然と考えていた会議ですが、集まらなくても会議ができるという経験を積み重ねました。しかし、話し合いを深めることの難しさも感じました。今後も感染予防策を講じながら、対面、オンライン、これらの組み合わせなど、参加しやすく、充実した話し合いができる会議のあり方について検討していきます。

○ボランティア・NPO活動センター委員会 (通称：センター委員会)

教職員で構成される正式な学内組織であるセンター委員会では、センターの運営や各種事業についての審議や報告が行われます。そこに、学生スタッフの代表はオブザーバーとして参加し、学生スタッフが企画するボランティアプログラムなどの企画提案や報告を学生自らがを行います。

例年は、瀬田キャンパスと深草キャンパスをテレビ会議システムでつないで開催していましたが、今年度は完全にオンラインでの開催となりました。本来であれば、毎回学生スタッフの代表がオブザーバー参加するところですが、オンライン環境の都合により、全4回開催の内、第1回と第2回については教職員のみで Microsoft Teams を活用して開催しました。学生スタッフのオブザーバー参加ができるよう、第3回より Zoom を活用しての開催となりました。

センター委員会では、委員の先生方より、センター事業についてのご意見をいただくことはもちろん、学生スタッフ企画の評価の指標についてアドバイスをいただくなど、学生スタッフの気づきにつながっています。

○ボランティア・NPO活動センター会議 (通称：ボラセン会議)

ボラセン会議は、センター長進行のもと、学生スタッフの企画やセンター事業の審議、報告などを行っています。例年は、毎月深草・瀬田両キャンパスの教室で交互に開催していましたが、今年度は4月から学内への入構ができなくなり、しばらくは活動がストップしましたが準備をすすめて、7月にボラセン会議をオンライン (Zoom) で再開することができました。それ以降ほぼ毎月オンラインで開催し、対面活動が認

められたタイミングで、瀬田と深草それぞれで集まってつなぐハイブリッド形式での開催にもチャレンジしました。



オンラインでのボラセン会議では、会議に参加している当時者意識を醸成する工夫として、毎回、ブレイクアウトセッションで学生スタッフ同士が意見交換をする時間を設けました。これにより、グループでの話し合いを進行するファシリテーターや記録係、全体での発表者など役割が発生し、発言の機会だけでなく、学生スタッフが自分達でミーティングをするうえで必要となる役割を経験する機会となりました。



○学生スタッフ会議

(通称：学スタミーティング)

学スタミーティングは、キャンパスごとに、放課後や昼休みに学生スタッフ企画やセンターの運営について話し合いをしたり情報共有をしたりしています。

大学への入構ができず、しばらくはミーティングも行われていませんでしたが、新歓をしたい、何かしたいという学生スタッフ有志がオンラインでのミーティングを始めるようになりました。その後、大学への入構ができるようになるのをきっかけに、学スタミーティングが再開しました。

後期からはオンラインもしくはハイブリッドの形で、ほぼ毎週学スタミーティングが行われるようになりました。以下、各キャンパスの学スタミーティングの工夫点を紹介します。

〈深草〉

- ・大学に入構したりセンターに入室できる状況のときは、完全にオンラインとするのではなく、センターやその周辺に集まって各自PCで参加するハイブリッド形式をとった。
- ・より良いミーティングのために、毎回のミーティング終了後に参加者から意見をもらうようにして改善していった。
- ・Zoomなどのスキルアップのために、ミーティングの準備は全員で順に回すようにした。
- ・画面共有で情報共有を図った。



〈瀬田〉

- ・じっくり話し合う必要がある議題のときは、ブレイクアウトセッションを活用し、少人数で話し合える環境をつくった。
- ・オンラインの環境によってはビデオオフで参加する人もいるため、参加者の反応が見えにくい。そのため、リアクションボタンを積極的に活用するようにした。
- ・画面共有で資料共有ができるため、事前にパワーポイントやワード資料を用意し、参加者の理解が深まるよう工夫した。



○スタッフ会議

スタッフ会議は、主にセンター委員会やボラセン会議の前に、その資料や次第の確認を行ったり、センターの事業や運営について話し合ったりしています。これまで、平日の日中に深草・瀬田どちらかのキャンパスで会議をおこなっていたことから、職員の移動が伴い、スタッフが全員参加できないことが多くありました。オンライン化したことにより、全員が参加してのスタッフ会議の開催が可能となりました。

ボランティア・NPO 活動センター 会議組織図

ボランティア・NPO 活動センター委員会

1. 構成員
 - ①センター長②副センター長③事務部長（次長）④センター長が推薦する委員
＊オブザーバー（各学舎学生代表2名）
2. 審議及び報告事項
 - ①センターの運営について
 - ②各種センター事業について（センターの主催事業、共催事業、協力事業等）
 - ③その他
3. 開催について
 - ①年4回程度開催
 - ②重要案件が生じた場合は、その都度開催

ボランティア・NPO 活動センター会議〈通称ボラセン会議〉

1. 構成員
 - ①センター長②副センター長③事務部長（次長）④課長⑤課員⑥コーディネーター
⑦学生スタッフ
2. 審議及び報告事項
 - ①センターの運営について
 - ②各種事業について（センターの主催事業、共催事業、協力事業等）
 - ③その他
3. 開催について
 - ①原則月1回開催

学生スタッフ会議
〈深草・瀬田〉

1. 構成員
 - ①学生スタッフ②コーディネーター
2. 審議及び報告事項
 - ①学生スタッフの運営について
 - ②学生企画事業について
 - ③その他
3. 開催について
 - ①〈深草〉
放課後ミーティング（1回／週）
 - ②〈瀬田〉
放課後ミーティング（1回／週）

スタッフ会議

1. 構成員
 - ①センター長②副センター長
③事務部長（次長）④課長⑤課員
⑥コーディネーター
2. 審議及び報告事項
 - ①センターの運営について
 - ②各種事業について（センターの主催
事業、共催事業、協力事業等）
 - ③その他
3. 開催について
 - ①原則月1回開催